

平成 19 年度(2007 年度) 船の科学館 基盤整備事業 事業報告書

1 . 学芸振興活動

(1) 「博物館」関係

展示場等の補修工事

展示品及び展示機器について、適時補修及び交換等の整備を行い良好な展示運営に努めた。

「宗谷」の一般公開

「宗谷」の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

・本年度の乗船者数	1 1 2 , 4 8 8 名
・本年度末までの累計乗船者数	6 , 9 7 6 , 9 9 3 名
・公開日数	3 0 8 日
・閉鎖日数	5 7 日

(2) 図書関係

前年度に引き続き、図書(逐次刊行物を含む)の充実を図り、読書ルームを一般公開した。

また、海事関連のコミックや小学生向けの図鑑なども整備して、利用者に対するサービスの向上を図った。

・公開日数	3 1 7 日
・利用者数	7 , 9 2 5 名

(3) 資料の受入

本年度においては、次のとおり資料の受け入れを行った。

購入・制作資料 模型 カラフト犬「ジロ」他 8 件

寄贈・寄託資料 船舶模型 旅客船兼自動車渡船“へるめす”他 4 5 件

(4) 資料の貸出

三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星 2 2 型エンジン 2 基

期 間：平成 1 9 年 4 月 1 日～平成 2 0 年 3 月 3 1 日(継続)

(株)天賞堂

貸出資料：羊蹄丸図面 1 点

期 間：平成 1 9 年 5 月 2 5 日～平成 1 9 年 8 月 2 4 日

青森県立郷土館

貸出資料：船舶模型 北前船 他 20点

期 間：平成19年8月15日～平成19年9月17日

東京都立中央図書館

貸出資料：船舶模型“通運丸” 1点

期 間：平成19年9月19日～平成19年10月9日

(財)日本海事広報協会

貸出資料：船舶模型“日精丸” 1/500スケールモデル 1点

期 間：平成19年11月29日

たつの市教育委員会

貸出資料：「万国船尽図」 他1点

期 間：平成20年1月21日～平成20年4月4日

(株)日経映像

貸出資料：船絵馬 2点

期 間：平成20年1月24日

(5) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出等を行った。 26件 125点

(6) 博物館活動への参加

博物館相互の関係を密接にするため、各種博物館活動に参加するとともに類似博物館などと交流を図った。

(7) 催事等の開催

ワールド シー ワールド ～海と船に親しむ～

海での安全と防災意識及び海と船への興味・関心の高揚を目的として海上保安庁、警視庁、東京消防庁による水難救助訓練のデモンストレーション、プレジャーボート及びエンジン付ゴムボートの体験乗船教室、小型船舶操縦免許情報コーナー及び海・船実験教室等で構成する複合型イベントを実施した。

開催期間：平成19年5月3日(木)～5月5日(土) 3日間

開催場所：船の科学館及び周辺海域

入場者数：8,776名

君も、一日海上保安官になろう！

海上保安の日にちなんで、東京海上保安部の協力により、小学生を対象に巡視艇
“まつなみ”による東京港内の巡視体験等を実施した。

開催期間：平成19年5月12日(土) 1日

開催場所：船の科学館及び東京港

参加者数：74名

お台場海浜公園 de いきもの観察会

開催期間：第1回 平成19年7月 8日(日)

第2回 平成19年8月29日(水)

開催場所：お台場海浜公園第三台場付近

参加者数：36名

臨時「海の相談室」

開催期間：平成19年7月21日(土)、22日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 1階エントランスホール

参加者数：149名

海上保安庁海洋情報部による海洋教室

開催期間：平成19年7月21日(土)、22日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 1階エントランスホール

参加者数：25名

東京海上保安部による海の安全教室

開催期間：平成19年7月21日(土)、22日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 本館3階マリタイムサルーン

参加者数：1,757名

海上保安庁海洋情報部による海図等の展示

開催期間：平成19年7月21日(土)～29日(日) 9日間

開催場所：船の科学館 1階エントランスホール

参加者数：1,458名

海上保安庁海洋情報部による測量船“明洋”一般公開

開催期間：平成19年7月28日(土)、29日(日) 2日間

開催場所：航海訓練所専用棧橋

参加者数：538名

造船所見学会 ～巨大船はこうして造られる～

開催日：平成19年8月22日(水) 1日

開催場所：三井造船千葉事業所

共催：三井造船株式会社、社団法人日本船舶海洋工学会

参加者数：32名

帆船模型工作室「夢工房」

開催期間：平成19年4月～平成20年3月の土・日曜日 35回

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”ギャラリー

参加者数：99名

宝井梅星氏による講談「南極第一次観測隊物語」

開催期間：平成19年4月29日(日)～3月29日(土) 9回

開催場所：船の科学館 本館エントランスホール

参加者数：158名

海洋会ボランティアによる「海の男のギャラリートーク」

開催期間：平成19年5月19日(土)～10月27日(土) 26回

開催場所：船の科学館展示場内

参加者数：827名

宗谷ボランティアによる「海の男のギャラリートーク～奇跡の船“宗谷”～」

開催期間：平成19年11月10日(土)～12月23日(日) 8回

開催場所：南極観測船“宗谷”船内

参加者数：211名

ボランティアによるミュージアムツアー

開催期間：随時 23回

開催場所：船の科学館展示場内

参加者数：292名

海と船のカレンダー展

開催期間：平成20年1月2日(水)～20日(日) 19日間

開催場所：船の科学館 本館3階マリタイムサルーン

入館者数：8,633名

南極観測船“宗谷”古希祭

開催期間：平成20年2月16日(土) 1日

開催場所：南極観測船“宗谷”船上

入館者数：104名

お台場「ミュージアムスタンプラリー」

開催期間：平成20年3月1日(土)～3月31日(月) 31日

開催場所：臨海地区博物館10館

(8) 共催・後援・協力事業

「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力などを行い、海事科学知識の普及、啓発に努めた。

東京海洋大学 第47回海王祭

開催期間：平成19年6月2日(土)、3日(日) 2日間

開催場所：東京海洋大学越中島キャンパス

主催：東京海洋大学 海王祭実行委員会

来場者数：248名

第5回水中映像祭

開催期間：平成19年6月9日(土)～17日(日) 9日間

開催場所：船の科学館 本館オーロラホール及び羊蹄丸

主催：水中映像祭運営事務局

第44回関東地区中学生海の絵画コンクール

開催期間：平成19年7月21日(土)～29日(日) 9日間

開催場所：船の科学館 本館エントランスホール

主催：社団法人関東海事広報協会、財団法人日本海事広報協会

研究船で海を学ぼう

開催期間：平成19年7月31日(火)～8月5日(日) 6日

開催場所：静岡県静岡市

主催：財団法人日本科学協会

参加人数：79名

商船模型同好会作品展示会～船の手作り模型展～

開催期間：平成19年8月18日(土)～25日(土) 8日間

開催場所：羊蹄丸アドミラルホール

主 催：商船模型同好会

入場者数：1,560名

船の科学館水ものフェスティバル2007

開催日：平成19年8月26日(日) 1日

開催場所：船の科学館 本館3階 ラジコン船プール

主 催：船の科学館水ものフェスティバル実行委員会

学校施設での出前事業

開催期間：平成19年9月10日(月) 1日

開催場所：かえつ有明中学校

開催期間：平成20年3月4日(火) 1日

開催場所：東京都新宿区立新宿中学校

ミニボートフェスティバル2007 in 船の科学館

開催期間：平成19年10月20日(土)、21日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 シーサイドプール

主 催：社団法人日本舟艇工業会

入場者数：1,101名

帆船愛好会 Salty Friends 講演会「帆船時代の航海術 ～帆船で海、行く？」

開催期間：平成19年12月2日(日) 1日

開催場所：羊蹄丸アドミラルホール

主 催：帆船愛好会 Salty Friends

入場者数：80名

艦船模型サークル「ミンダナオ会」作品展示会

『華麗なるクルーザー・エイジ～世界の巡洋艦～』

開催期間：平成20年2月9日(土)～11日(月) 3日間

開催場所：羊蹄丸アドミラルホール

主 催：艦船模型サークル「ミンダナオ会」

入場者数：1,089名

2. 一般事業

船の科学館における一般事業として前記の行事のほか、来館者誘致のための催事及び業務を次のとおり実施した。

(1) 各行事の実施

体験行事

海洋への興味・関心の高揚を図ることを目的に、親子を対象として春休み中の3月・4月の日曜日に計2日間、「親子ふれあいスポーツ広場」、「ゴムボート・カヌー体験教室」を開催した。

協力イベント

日本キャスティング協会主催により「キャスティング初心者講習会」をシーサイドガーデンにて計8回開催した。

(2) 標識掲出、交通広告の実施

港、江東地区に道路看板を3基継続掲出したほか、新交通「ゆりかもめ」の「船の科学館駅」に案内看板を1基継続掲出した。

(3) 各種広報活動の実施

一般広報

「月刊 教育旅行」等の教育誌及び「東京シーサイドストーリー」、「レインボータウン ENJOY MAP」、「読売新聞」等の宣伝効果が期待できる媒体を利用し、船の科学館の案内広告を掲載した。

船の科学館各種行事案内リリースをマスコミ、インターネット情報サイト等に発信した。

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等に取材要請をするとともに、撮影、取材、番組制作に協力し、船の科学館の知名度を高めた。

3. 「100年構想プロジェクト」事業

船の科学館は、平成19年7月に「海洋基本法」が施行され、わが国における海洋への取り組みが大きな転換期を迎えるなか、海洋国家日本の首都東京に位置し、海洋新時代に相応しい海洋博物館を目指した将来構想を企画立案するために「100年構想プロジェクト準備室」を「100年構想プロジェクト室」に改め、下記の業務を行った。

なお、本構想実現のための特定資金として、前年度に引き続き、日本財団より15億円の助成金の交付を受けた。

(1) 「100年構想事業推進本部会合」の開催

博物館の専門家を交えた「100年構想事業推進本部」を設置し、船の科学館の将来構想を検討した。

第1回会合：平成19年7月10日

会議内容：船の科学館100年構想について

船の科学館の建築再生に関する比較について

船の科学館の将来構想策定のために

第2回会合：平成19年9月27日

会議内容：「基本構想」及び「来館者満足度調査の中間報告」について

新船の科学館建築のシミュレーション

「基本構想」から「基本計画」策定へ

第3回会合：平成19年11月27日

会議内容：「来館者満足度調査及び有識者からの意見拝聴」について

「HPへのアクセス追跡調査の報告」について

「最適な建設位置と超低ランニングコストへの方策」について

「これからの博物館の経営・運営」について

第4回会合：平成20年2月29日

会議内容：「海外海事博物館等視察調査報告」について

「欧州の博物館視察調査に同行して」

「旧本館閉館及び新館建設に係る検討事項」について

「基本計画・基本設計策定に係る業者選定」について

(2) 「来館者満足度調査」の実施

100年構想事業推進のため「来館者満足度調査」を(財)日本科学技術振興財団に委託し2度実施した。

第1回：平成19年8月11日～8月17日(7日間)

場 所：船の科学館1階エントランスホール

調査件数：1,000件

第2回：平成19年10月6日～10月8日(3日間)

場 所：船の科学館1階エントランスホール

調査件数：300件

(3) 「有識者からの意見拝聴」の実施

100年構想事業推進のため「有識者からの意見拝聴」を実施した。

期 間：平成19年10月18日～平成19年12月26日

人 数：12名

(4) 「小学生の海と船に関する意識調査」の実施

学校との連携に関する調査として「港区立港陽小学校5年生」を対象に海と船に関する意識調査を実施した。

期 間：平成19年12月20日

人 数：36名

(5) 「初代南極観測船“宗谷”に関する調査研究

初代南極観測船“宗谷”の文化財的価値及び保存整備に係る調査研究を(独)国立文化財機構 東京文化財研究所に委託し実施した。

期 間：平成20年1月7日～平成20年3月21日

(6) 「海外海事博物館等視察調査」の実施

100年構想事業推進のため「海外博物館等視察調査」を実施した。

「欧州海事博物館視察調査」

期 間：平成20年1月9日～平成20年1月19日(11日間)

訪 問 国：イギリス・フランス・ドイツ

視察博物館：ロンドン国立博物館・グリニッジ国立海事博物館・パリ国立海軍博物館・
ドイツ博物館 他11館

「全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修」

期 間：平成20年1月13日～平成20年1月23日(11日間)

訪 問 国：アメリカ合衆国・カナダ

視察博物館：カナダ自然博物館・カナダ科学技術博物館・ロイヤルオンタリオ博物館
他9館

4 . 募金活動

昭和54年5月より、船の科学館前面水域にて一般公開中の初代南極観測船「宗谷」の老朽化に伴い、保存募金活動を平成15年3月より開始し、本年度は1,491,273円、平成20年3月末までの5か年の累計で7,024,147円の寄付金が集り、内4,200,000円を平成17年度の宗谷保存整備事業に充当した。その結果、残額は2,824,147円となっている。

5 . 船の科学館の諸施設の運営

(1) 船の科学館の運営

開館33年を迎えた船の科学館は、家族連れの個人客をはじめ、都内・近県及び全国の小、中、高校生の校外学習や遠足及び修学旅行のほか、一般団体、海事団体、身体障害者団体、老人団体等の受け入れを幅広く行うことにより、開館当初よりの目的である海事知識の普及啓発に努めた。

入館者の利用状況は、本年度より休館日制（春・夏休み、ゴールデンウィーク等の繁忙期を除き毎週月曜日を休館とした）の導入と、入館料及び入館区分の大幅な改定を行い、共通券、本館券、羊蹄丸券の3種類の券種を共通券に一本化したほか、料金の値下げ、個人園児及び「宗谷」・「羊蹄丸」の見学無料化を図った結果、有料入館者については、個人158,570人、団体48,597人の計207,167人となり、無料入館者（学生団体の教職員、招待券等）9,572人、「宗谷」・「羊蹄丸」乗船者4,381人の計221,120人の入館があった。

また、このほかに、催事、会議、セミナー等の参加者として、24,082人、修学旅行団体等の食事利用による施設利用者として77,700人の計101,782人の利用があり、入館者と合算すると322,902人の来館者となった。

入館者の便益施設については、飲食施設のレストラン「海王」は大同企業(株)と施設賃貸契約、ベイサイドテラス「キャビン」及び売店「マリンショップ」はノムラデベロップメント(株)との施設賃貸契約による運営を行った。

(2) 青函連絡船「羊蹄丸」の運営

青函連絡船「羊蹄丸」は、開業12年目を迎えたが、本年度より東京都との合意により入館料の無料化を実施した。このため昨年度まで行っていた展示案内の業務委託を廃止し、大幅な経費削減を図った。ただし諸施設の管理保守は昨年同様の施設運営を行い、来館者の利便と安全を図った。乗船状況については、展示場入場者数65,222人となった。

(3) プールの運営

プール部門については、人件費の軽減を図る為、売店・料金所・管理運営部門を外部委託し営業を行った。入場者は前年度比 9,058 人(12.2%)減の 64,969 人、収入は 537 千円(0.8%)増の 65,262 千円となった。

(4) 来館者の誘致業務

来館者の誘致業務については、個人客に対して、船の科学館のホームページをはじめインターネット・各種雑誌等の出版物を利用した紹介・告知を実施するとともに、近隣施設・マスメディア・交通機関との連携による誘致を図った。

さらに、官公庁・海事関連団体・企業等による会議・セミナー・オリエンテーリングの説明会場として既存ホールの積極的な活用を図った。

夏期プール事業については、大手コンビニエンスストアチェーン店での入場券販売をはじめ、都内の企業・各種健康保険組合等を訪問し、契約件数の増加及び利用促進を図った。

6. 共 同 事 業

平成 18 年度に海洋政策研究財団と共同で開発したトランクケース型巡回展展示アイテムを 10 点制作し、「海と船の巡回展」を開催した。

さらに、平成 20 年度延長事業として人気アイテム 7 点の追加製作を開始した。

7. 協賛・協力事業

船の科学館周知広報業務、来館者誘致を兼ね、他団体の行事に次のとおり協賛・協力を行った。

行 事 名	期 間	主 催	協 力 内 容
21 世紀の船出プロジェクト	19.10.8	21 世紀の船出プロジェクト実行委員会	「海と船の巡回展」展示アイテムの貸出及び解説要員の派遣等
第 6 回ドリームよさ来い祭	19.11.4	第 6 回ドリームよさ来い祭実行委員会	会場の提供
埼玉県民の日	19.11.14	埼玉県	埼玉県の小・中学生に対する無料開放
第 35 回関東甲信地区総合錦鯉品評会	19.12.1 ~12.2	全日本錦鯉振興会	会場としてシーサイドプール、ホールの提供並びに賞状・賞品の提供

第31回海洋図画コンクール	19.12.8	(社)関東海事広報協会 埼玉支部	賞状・賞品の提供
第31回海洋作文コンクール	19.12.8	(社)関東海事広報協会 埼玉支部	賞状・賞品の提供